

新年のご挨拶



揖斐川町長 富田 和弘

新年あけましておめでとうございます。本年も町民の皆様にとつて、良い一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年は、町民の皆様と町が協力して、それぞれの立場からアイデアや考えを出し合い、政策などについて自由に意見を交換する場として、「未来センター会議」がスタートしました。

まちづくりは、行政だけでは進まず、住民だけでできるものでもありません。「未来センター会議」は、地域内の活力を生むためのアイデアや意見、地域課題を考え、対策の論点を整理して住民と町が共に話し合う、新しい住民参加型のまちづくりの会議です。

これからのまちづくりの方向性や価値観を共有しながら、住民の皆さんの声を反映した未来のまちづくり

像を描く、取組みにつなげていきたいと考えております。

また、30回目の節目を迎えた「いびがわマラソン」では、これまで運営を支え続けてくださった皆さんに感謝の気持ちを伝えようと、「30回記念感謝祭」を開催し、30回連続で出場していただきましたランナーやボランティアの皆さん、ご協賛いただきました企業に対しまして感謝状の贈呈を行い、これまでの感謝の気持ちを伝えました。町内の中学生には「未来のマラソン像」と題して、いびがわマラソンの未来について語り合っていました。

大会当日は、前年に続き晴天の中でのレースとなり、全国各地から訪れたランナーの皆さんは爽やかな秋空のもと、紅葉に染まる揖斐川沿いで、元気いっぱい走りを見せてくれました。また、沿道では町民の皆

さんが、心を込めた応援をしてくださり、お陰様で盛大のうちに終えることができました。マラソンコースの清掃など、準備の段階から関わっていただいた皆さん、ボランティアの皆さん、沿道で声援を送っていた皆さん、沿道で声援を送っていた皆さんの「おもてなしの心」が、来訪者に十分伝わった結果であると思っております。

あらためまして、町民の皆さんのご協力に心から感謝申し上げますとともに、「いびがわマラソン」のさらなる魅力アップに向けて取り組んでまいります。

さて、町政を取り巻く現状として、少子高齢化、人口減少が大きな課題となる中で、若い世代が安心して子育てできる施策として、給食費の無償化や小中学生の修学旅行費の補助、第2子以降の保育料の無料化など実

施してまいりました。また、町の豊かな森林に子どもたちが親しみ、学び、たくましく育っていくために、体験型「森のようちえん」事業を実施しました。町の大切な財産である子どもたちのために子育て支援の充実につきましても引き続き実施してまいります。

また、福井県池田町につながる国道417号の整備につきましては、揖斐川町側の「(仮称)冠山峠1号トンネル」が、昨年7月に貫通いたしました。

これは、揖斐川町にとりまして、永年の悲願でもあります「冠山峠道路」の全線開通に向けた、大きな前進であると考えております。

この冠山峠道路が整備されますと、現在、建設が進んでおります東海環状自動車道を介して、北陸と中京圏を結ぶ大動脈として、流入人口の増



加や、沿線自治体を含めた広域周遊観光など、新たな産業や観光の活性化にもつながるものと期待をしております。

今後は、都市計画道路大野揖斐川線の整備や、市街地の区画整理事業などを促進し、企業誘致や地場産業



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい平成30年の新春をお健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げますとともに、日頃より、町政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、やまと・きたがた幼稚園の竣工、合併後初の大選挙区での町議会議員選挙、養老鉄道の新しい事業形態である「養老線管理機構」の設立、福井県池田町と揖斐川町を結ぶ国道417号「(仮称)冠山峠1号トンネル」の貫通、第30回いびがわマラソン記念大会の開催、揖斐郡三町・JAによる香港での観

の活性化による雇用の場の創出、町内観光地への交通アクセスの整備などを進めてまいりたいと考えております。

また、公共交通施策の再検討、各産業が連携した地域経済の活性化など、これまでの重点事業も継続して

揖斐川町議会議長 高橋元之

光物産プレゼンテーション事業など、様々な事業や施策が展開されました。

また、町民の皆様と町が協力して、町の課題や将来をみんなで考えるところ「未来センター会議」が新設されました。この事業は、住民の皆さんの声を反映した未来のまちづくり像を描くという画期的な事業であり、その取組みが大いに期待されています。

一方で、急速な少子高齢化による人口の減少、生産年齢人口の減少による農林業、商業の担い手不足と賑わいの衰退、魅力ある雇用の場の確保、環境問題への取組みなど喫緊の課題も多く残されています。

さらに、昨年も全国で多くの自然

実施してまいります。

こうした様々な施策が相乗効果を発揮するよう、効果的に取り組んでまいりたいと考えております。

町民の皆様と力を合わせて、揖斐川町第2次総合計画において掲げました、目指すまちの将来像「自然健

災害が発生しています。7月の九州北部豪雨災害、10月の台風災害などの被害状況を目の当たりにして、ますます防災力強化の必要性を感じた

ところでございます。減災に向けた「自助」・「共助」・「公助」の体制を強化し、実効性の高い地域防災力の向上が求められています。

揖斐川町議会では、議会内に議会改革、公共交通、基盤整備などの特別委員会を設置し、より開かれた議会、活性化した議会改革の推進、養

老鉄道・コミュニティバス・樽見鉄道などを合わせた公共交通の再生、冠山峠道路の早期完成、鉄嶺トンネル、都市計画道路などの事業推進を全力で取り組んでいます。

幸のまち「いびがわ」の実現に向けまして行政運営に取り組んでまいりたいと考えております。

どうか本年も、町政に対する変わらぬご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

近年は、地方分権の進展により、住民に身近な存在である議会とその議員の果たすべき役割や責務は、ますます増大してきております。

議会の役割は、予算案などの議決のみではなく、地域の実情、住民の皆様の声を行政に反映させることにあります。

町民の代表である議会といたしましては、執行機関とお互いに切磋琢磨しながら、まちづくりの主役は町民の皆様であることを第一に、揖斐川町第2次総合計画に定めるまちの将来像「自然健康のまち いびがわ」の実現に向けて、鋭意努力してまいりたいと考えております。

年頭に当たり、皆様のますますのご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、町議会への一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。